



## コロナ禍でも子どもたちに夢を 公民連携で最先端の体験機会創出

市は、公民連携に関する企業・大学等（以下、「事業者」という。）からの提案の受付と、市の課題を公表して提案募集を行う窓口として、「公民連携プラットフォーム」を設置しており、「こども夢基金」を活用した公民連携の取り組みを令和2年12月に提案募集した。

提案のうち、「AR妖怪（モンスター）学校」、「HIRAKATAプラネタリウムミュージアム」、「枚方市オリジナルの体験型地図アプリ」の3事業を3月中に実施する。

- ★市では、例年「こども夢基金」を活用し、子どもたちが多様な体験をすることで夢を育むための事業を展開していたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、当初想定していた取り組みが中止になるなど、こうした機会の減少が課題となっていた。
- ★また、学校教育や普段の生活の場面で、様々な我慢を強いられている子どもたちに何か思い出や記憶に残る体験の機会を提供したいと考え今回の企画を立案。
- ★今回の提案募集では、「全国初」「関西初」など普段では体験できないような最先端の取り組みに触れる機会やICT機器を含めた新たな技術を体感する機会となる連携事業を募集し、3つの事業を実施することとした。提案内容の実施にあたって、「こども夢基金」を財源として、事業費のうち1事業あたり最大100万円を市が負担する。
- ★実施にあたっては、再度、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて規模の縮小など実施内容が変更となったが、子どもたちが少しでも笑顔になってくれればと担当者は話す。
- ★事業の概要は以下のとおり

○「AR妖怪（モンスター）学校」【ARを活用した体験授業プログラムは関西初！】

連携事業者：トンガルマン株式会社（代表取締役：水野博之氏）

取組内容：子どもたちがタブレット端末を手に学校探検を行うと、音楽室や図書室など校内の各ポイントに、それぞれの部屋にまつわる「妖怪」のARがタブレット越しに出現。タブレット端末とARを活用した体験型のWebコンテンツを構築。



実施日：令和3年3月18日～3月23日（市内の公立小学校で随時実施）

○「HIRAKATAプラネタリウムミュージアム」

連携事業者：トンガルマン株式会社

取組内容：古代からの伝承になぞらえた「七夕伝説ゆかりのまち」枚方にちなみ、現代の都市環境では肉眼で見ることのできない、天の川をはじめとした枚方の「1000万個の星空」と七夕にまつわる物語を体験できるプラネタリウム動画をデジタルコンテンツとして公開。

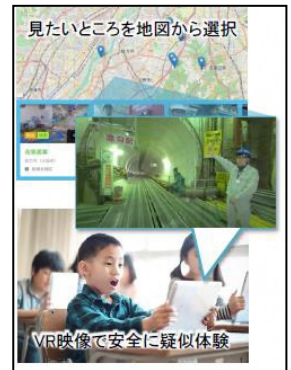


実施日：動画コンテンツを令和3年3月中に市ホームページ等で公開

○「枚方市オリジナルの体験型地図アプリ」

連携事業者：株式会社ライブ・アース（代表取締役：庄司真史氏）

取組内容：枚方市のオリジナルフレーム（地図）に、市内各所のVR360度画像・映像を表示。子どもたちがタブレット端末で、通常の施設見学では目にすることのできない様々な施設の裏側や、360度映像ならではの景色を閲覧できる、安全な疑似体験環境を構築。作成したコンテンツは、令和3年度中に製作を進めていく市の「デジタル副読本」にも収録する予定。



実施日：令和3年3月27日（小学校3～6年生向け体験会）

作成したアプリについてはWebでも公開予定

★市は、公立小中学校へのタブレット端末の導入を全国的にもいち早く進めるなど、新たな技術を活用した教育を推進しており、今回子ども夢基金を活用した社会実証事業をはじめ、最先端の技術を子どもたちに体験してもらい、子どもたちの可能性を最大限に引き出す環境づくりに取り組んでいる。

<各事業に関する連携事業者のお問い合わせ先>

○「AR妖怪（モンスター）学校」

トンガルマン株式会社（プロデューサー 吉田新九郎、担当ディレクター 金原彩音）

☎06-6131-7266、ファクス 06-6131-7288

○「HIRAKATAプラネタリウムミュージアム」

トンガルマン株式会社（プロデューサー 吉田新九郎、担当ディレクター 土居啓介）

☎06-6131-7266、ファクス 06-6131-7288

※両事業とも、基本的には主担当の吉田プロデューサーへお問い合わせください。

○「枚方市オリジナルの体験型地図アプリ」

株式会社ライブ・アース（代表取締役 庄司真史）

E-mail [admin@livearth.jp](mailto:admin@livearth.jp)

<お問い合わせ> 企画政策課（担当：浅井・佐藤）☎072-841-1254、ファクス 072-841-3039